

農業用ため池の廃止要望に係る現地調査の結果について

令和5年度以降のため池廃止事業計画を立てるため、令和3年6～7月に廃止要望箇所を取りまとめたところ、246箇所のため池について要望がありました。

この要望に基づき、令和3年9～10月に現地調査を実施する予定でしたが、同年7月豪雨の対応により実施時期がずれ込んだため、本年2～3月に要望数の一部(31箇所)の現地調査を実施しましたので下記のとおり報告します。

1 現地調査の結果について

令和3年度に現地調査を実施したため池のうち人的被害のおそれのある箇所については、市において優先度を勘案し、令和5年度以降、計画的に廃止事業を実施する予定です。

なお、この調査結果については、本年4月に地区土木委員長及びため池管理者へ送付しています。

地域	廃止要望数	R3年度 現地調査実施済		現地調査未実施数 (R4年度以降実施)
			うち、調査の結果、 廃止に向かうもの	
出雲	43 (12)	4 (3)	4 (3)	39 (9)
平田	125 (24)	11 (9)	7 (6)	114 (15)
佐田	27 (7)	6 (2)	4 (2)	21 (5)
多伎	11 (5)	4 (3)		7 (2)
湖陵	10 (2)	2 (2)	1 (1)	8 (0)
斐川	30 (4)	4 (1)	2 (1)	26 (3)
計	246 (54)	31 (20)	18 (13)	215 (34)

()内は、防災重点農業用ため池の箇所数

2 今後の現地調査について

廃止要望のあったため池246箇所のうち現地調査が未実施の215箇所については、令和4年度及び5年度で実施する予定です。

なお、令和4年度においては、防災重点農業用ため池を中心に地域ごとにまとめて現地調査を行います。